

観光情報 ぶくさき

平成25年
12月号

福崎町観光協会 〒679-2280兵庫県神崎郡福崎町南田原3116-1(福崎町役場地域振興課内)
TEL 0790-22-0560 FAX 0790-23-0687
ホームページ <http://www.fukusaki-tabigaku.jp/kankou/>

福崎町観光協会

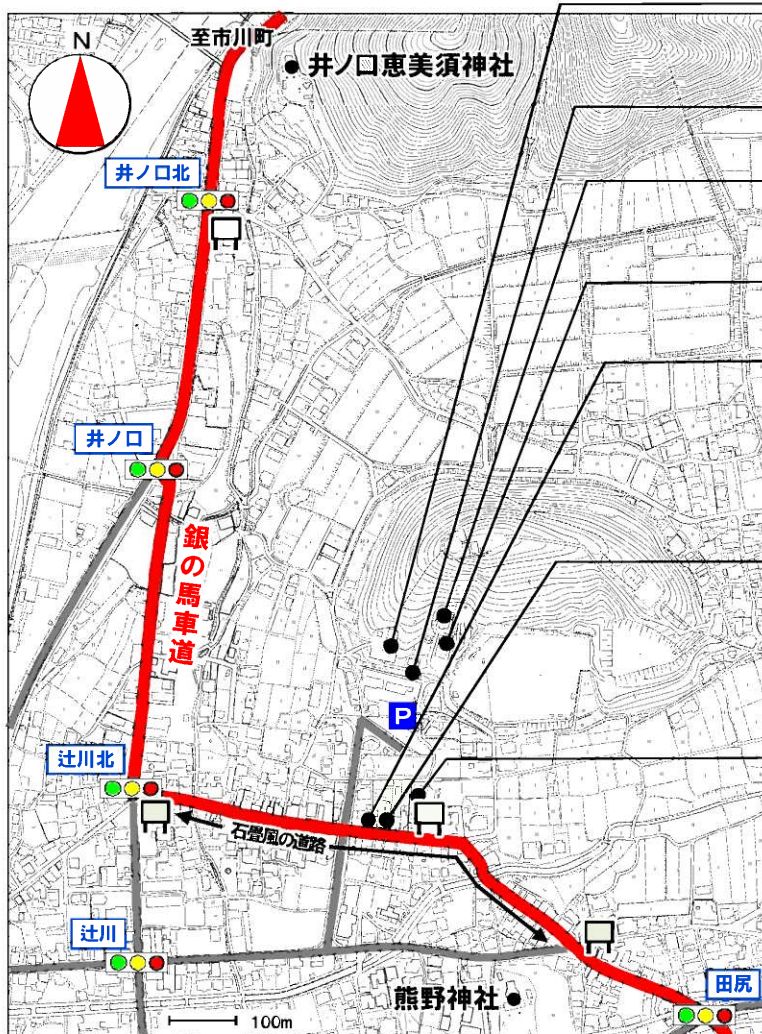
検索

12月の観光イベント

12月1日(日) ■第11回銀の馬車道ため池ウォーキング【集合/JA兵庫西 福崎ライスセンター】
[10:00~15:00] 田原地区のため池や周辺の観光スポットなどをめぐる約8kmのコースです。
豚汁の無料配布もあります。(9:30受付開始・参加無料・当日受付可)

歩いて巡ろう！銀の馬車道 Part① ー井ノ口～田尻編ー

姫路港から生野鉱山まで市川沿いに南北49キロに及ぶ「銀の馬車道」。周辺には様々な見どころがあります。「銀の馬車道」を辿って地域の歴史や文化に触れてみませんか？今回は、福崎町井ノ口区～田尻区間の銀の馬車道沿道スポットをご紹介します。



鈴の森神社

柳田國男ゆかりの神社。合格祈願には絵馬を奉納すると良いと言われています。

柳田國男生家

日本民俗学の父・柳田國男の生家です。

神崎郡歴史民俗資料館

旧神崎郡役所を移築・復元し、地域の民俗資料などを展示しています。

柳田國男・松岡家記念館

柳田國男と松岡家の貴重な資料が展示されています。

旧辻川郵便局

現在の福崎郵便局の前身とも言えるもので、平成20年に国登録有形文化財になりました。



大庄屋三木家住宅

姫路藩の大庄屋をつとめた三木家。建物は築300年以上にもなります。(保存修理工事中)



もちむぎのやかた

福崎町特産のもち麦を使った料理や商品を販売。ワンコインの和カフェもおすすめです。



次回は西光寺編！
お楽しみに☆



このイラストの場所には銀の馬車道の説明看板が設置されています。

福崎ゆかりの人物とゆかりスポットのご紹介 Part①

福崎町は様々な分野で功績を残した人物を多数輩出しています。また、地域の発展に貢献した人物もいます。これら福崎ゆかりの人物とスポットを2回に分けてご紹介します。



柳田國男

■柳田國男 (やなぎたくにお)

神東郡田原村辻川（現福崎町西田原）の松岡家の六男として誕生。日本民俗学という新しい学問を開拓し確立しました。（昭和26年文化勲章受章・昭和37年3月名誉町民）

■松岡鼎 (まつおかかなえ)

柳田國男の兄（長男）。19歳で昌文小学校（現田原小学校）校長、その後、志を転じて医師に。千葉県布佐町の町長も務めました。

■井上通泰 (いのうえみちやす)

柳田國男の兄（三男）。眼科医で桂園派の歌人。国文学者としても活動し、『萬葉集新考』や『播磨風土記新考』など様々な著作があります。

■松岡静雄 (まつおかしずお)

柳田國男の弟（七男）。海軍兵学校出身の海軍軍人。大役後は民族学や言語学の研究を行いました。

■松岡輝夫 (まつおかてるお)

柳田國男の弟（八男）。日本画家で、雅号は「映丘」（えいきゅう）。有職故実の研究を行い、大和絵の復興に尽力しました。



柳田國男生家

松岡家5兄弟が幼少期を過ごした生家です。



井上通泰の歌碑

井上家の菩提寺である観音寺（福崎町西治）には、鈴の森神社をしのんだ歌碑があります。



井上通泰

播磨国風土記の研究にも尽力しました。



■岸上大作 (かしがみだいさく)

田原村井ノ口（現福崎町西田原）生まれ。福崎高校時代から作歌を始め、国学院大学に進学後、21歳で亡くなるまで歌人として活躍しました。

岸上大作の歌碑

母校・福崎高校の校庭には大作が詠った歌碑があります。（校庭内にあるため、通常は非公開になっています）



ふくさき観光"豆"知識



「熊野神社」

熊野神社は福崎町のほぼ中央部に位置し、伊邪那美命を祀る神社として崇められています。創建年代は定かではありませんが、明治8年に郷社となりました。

10月の秋祭りには、御輿渡御と12台の豪華屋台の練り込み、浄舞や浦安の舞の奉納があります。



熊野神社

過去に発行した観光情報ふくさき（バックナンバー）は、福崎町観光協会ホームページからご覧いただけます。

本紙に関するお問い合わせは、福崎町観光協会まで。